

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	千葉県	事業実施主体	千葉県、銚子市	地域再生計画名	地域資源を活用した銚子創生計画
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	千葉県総合企画部長、農林水産部長、県土整備部長、銚子市企画財政課長、農産課長、都市整備課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標の達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	(目標1) 農業生産の活性化(管内野菜出荷量の増加)	113,900トン	平成27年度	117,380トン	令和元年度	117,900トン	119,120トン	令和3年度	○	3	1	中間目標値を上回っており、引き続き計画に則した整備を図り、最終目標達成を目指していく必要がある。
	指標2	(目標2) 観光交流の活性化(年間観光入込客数の増加)	2,347千人	平成27年	2,700千人	令和元年	2,554千人	2,876千人	令和3年	△	3	1	基準値は上回ったものの、令和元年は台風や大雨の影響等により、中間目標値を下回っており、引き続き地域資源を活かした交流イベントを実施し、最終目標達成を目指していく必要がある。
	指標3	(目標3) スポーツツーリズムの推進(スポーツ合宿施設宿泊者数の増加)	0人	平成27年度	10,500人	令和元年度	7,243人	16,500人	令和3年度	△	3	1	令和元年度は台風や大雨の影響、新型コロナウイルスの影響等により、宿泊キャンセルが相次いだことから、宿泊予約数は中間目標値を下回っているが、年々増加しており、引き続き各種スポーツイベントの開催やスポーツ合宿の誘致を実施し、目標達成を目指していく必要がある。
	指標4												
	指標5												
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												

③事業の進捗状況	事業名	整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(R元)	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業(整備延長)	130m	130m	130m	進捗率は100%であり、目標達成済み。
	広域農道整備事業(整備延長)	1,384m	600m	840m	現在の整備進捗状況は44%であるが、令和元年度の橋梁下部工事の受注業者の倒産により、再度工事の発注からやり直すことになったため、進捗が遅れ、令和3年度までの工事完了が不可能な状況となっていることから、計画期間の延長を予定している。
その他の事業	農産物の販路拡大	地元産の農産物のブランド化を推進し、消費拡大を図るため、「銚子農産まつり」など、食まつりイベントの開催。販路拡大のため市外、県外へのPRイベントに参加する。			・「銚子E農業まつり」(来場者5,000人)を開催し、農産物(野菜、畜産物、花き等)のPRを観光客や市民に向けて行った。
	農業人材の育成・確保	銚子市農業人材育成確保支援協議会が農業人材育成と確保を支援するため、農業技術等の研修会、地域周辺との親睦支援等を実施する。			・銚子市農業人材育成確保支援協議会が、農業後継者の育成を目的として、銚子市新規就農者激励会を開催するなど、農業人材育成と確保に取り組んでいる。
	スポーツツーリズムの推進	スポーツツーリズムを推進するNPO法人と連携し、スポーツイベントの誘致や開催支援を行う。マラソン大会やスポーツ合宿誘致を行う。			・NPO法人と連携して、「銚子イイ! グルメライド」と題し、銚子グルメを前面に押し出した民間のサイクリングイベントを誘致、開催した。また、毎年「銚子さんまマラソン」と題して銚子半島ハーフマラソンを実施し、参加者に銚子で水揚げされたさんまの炭火焼きを振舞い、大会ホームページで市内観光のPRを行っている。
	日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会の活用	関係自治体で構成している協議会において、日本遺産を総合的に発信する。案内板、説明板の整備を行う。			・観光案内アプリケーション、ホームページの作成のほか、インバウンド向けPR広告作成、体験プログラム調査・作成、認定地訪問・滞在の実態把握調査等に係る調査を行った。(案内板、説明板については、平成28年度に前倒しで事業終了したため、現在は上記取組を行っている。)
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法 学識者(1名)の意見を求め、中間目標値の実施状況について関係部局と評価・検討を行った。

⑤中間評価の公表方法 千葉県及び銚子市のホームページ

⑥計画全体の総合評価

- ・本計画は広域農道と市道を一体的に整備して、地域農産物流通の効率化、観光地へのアクセス向上を図るとともに、農産物の販路拡大、スポーツツーリズムの推進等を実施することにより、農業、観光の活性化を図り、将来にわたっての地域経済の縮小を克服することを目標としている。
- ・計画の目標については、3項目中1項目が中間目標を達成した。
- ・先行して完成した市道整備により、大型車両の通過が可能となったことで、野菜出荷量が増えた。今後、広域農道の全面開通によって、野菜出荷量の更なる増加が期待できる。また、観光地へのアクセスも改善されたが、観光に関する指標は、台風や大雨、新型コロナウイルスの影響を直接的に受けたため、目標を達成しなかった。
- ・広域農道の整備については、令和元年度の橋梁下部工事の受注業者の倒産により、再度工事の発注からやり直すことになったため、進捗が遅れ、令和3年度末までの工事完成が不可能な状況となっており、計画変更が必要である。
- ・今後は農道の整備と併せ、ソフト事業を引き続き実施し、事業の認知度を高めつつ、災害や新型コロナウイルスの影響を最小限に抑えながら、目標の達成を目指していく必要がある。

⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し (有・無) 令和2年度交付金要望額への反映 (有・無) 有りの場合の増減額 千円	(広域農道) 橋梁下部工事の受注業者の倒産により、橋梁全体の建設計画に遅延が生じたことから、計画期間の見直しを予定している。 なし

⑧今後の方針等に対する対応

計画期間を延長するため、計画変更を行う必要がある。